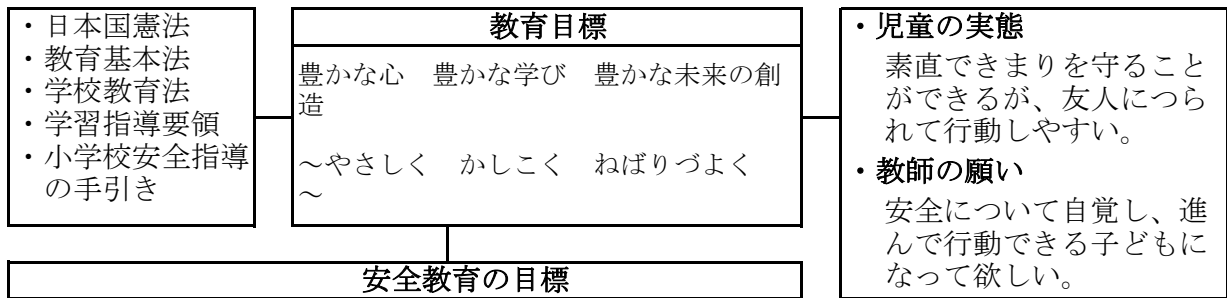


# (1) 学校安全・防災教育全体計画



**安全教育の目標**

学校生活を営むのに必要なことがらについて理解させるとともに安全な行動ができるような態度や能力を身につける。

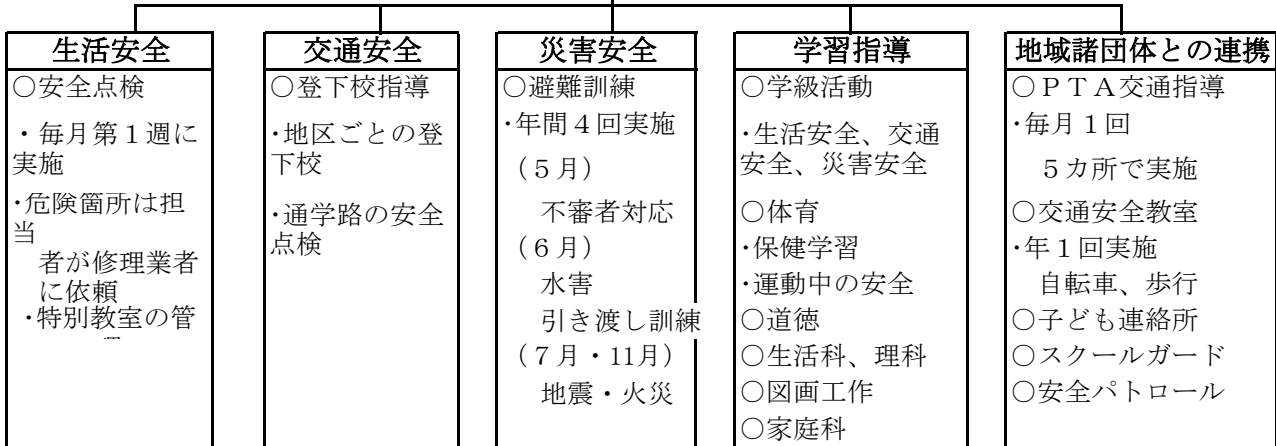
**重点目標**

自ら判断し、進んで健康・安全な生活を送ることができる力を育てる

**安全教育の重点・努力点**

①地区児童会で登下校時の安全確認をし、安全・防犯に対する児童の意識を高める。  
 ②自分の身は自分で守るという安全教育を徹底する。  
 ③保護者や地域との連携を十分深めることを通して、学校内外の安全確保に努め、事故を未然に防ぐ。

	低学年	中学年	高学年
<b>重点目標</b>	進んできまりを守り、安全に行動できる態度や能力を身につける。	危険に気づき、安全な行動ができる態度や能力を育てる。	自他の安全について考え、行動できる態度や能力を育てる。
<b>生活安全</b>	日常生活の安全を保つために必要な事柄を理解し、きまりを守り、安全に行動できる。	日常生活に潜むいろいろな危険について理解し、正しい判断の下に安全な行動ができる。	高学年として、リーダーシップをとり、自他の安全を考えて行動できる。
<b>交通安全</b>	交通のルールがわかり、安全な横断や歩行ができる。	交通安全について、どうしたらよいかを考え、安全に行動できる。	交通事故防止の知識理解を高め、進んで事故を防止しようとすることができる。
<b>災害安全</b>	災害発生時には、教職員や保護者など近くの大人に速やかに連絡し、指示に従うなど適切な行動ができる。	災害発生時には、危険に気づくことができるとともに、的確な判断の下に、自ら安全な行動をとることができる。	災害発生時には、自分自身の安全だけでなく、家族など身近な人々の安全にも気配りをし行動をとることができる。



※Jアラートの避難訓練は、情勢に合わせて必要に応じて実施する。